

北の森漫画 樹木漫画 リン子の絵日記 「シラカンバ」

林野庁北海道森林管理局
平田美紗子

四季の観察ポイント

春

雌花

雄花は枝の先に垂れ下がる

夏

果実は葉のわきから垂れ下がる

秋

葉は黄葉し、果実は茶色く熟す

冬

樹皮には黒い「へ」の字模様が目立つ

生木を食べる
シロスジカミキリ



シラカンバ

カバノキ科
カバノキ属
樹高
20～25m

幹に空いた穴は
アカゲラや
モモンガの
巣穴になる



樹液を吸うエルタテハ



シラカンバの根には
ベニテングタケが
共生しているため
林内によく発生する

種子

シラカンバは北海道を代表するバイオニア樹種です。バイオニア樹種とは新しく開けた土地に、いち早く入り込んで旺盛な成長をする木のことです。山火事や台風等の被害跡地に一斉に入り込み純林を作ります。光を好み成長が速いシラカンバですが、光が届かない場所では成長できず、寿命も百年程度と、ほかの木と比べて短いです。

リン子の
絵日記
シラカンバ

今日は、
キャンプに
来ています。



お、シラカンバの倒木だ。
キャンプファイヤーに
使えるな。

カバのなかまの樹皮は
もえやすいから、
たきつけに最適なんだ。

アイヌの人たちは、
シラカンバのなかまの
ウダイカンバの皮を
「松明」にしたんだよ。

アイヌ民族

シラカンバの樹皮は、
はだ目が細かくて、加工
しやすいから、細工品に
使われたりもしたんだ。

北海道に居住する
先住民族。昔は、
物々交換と狩猟採集で
生活した。

ひしゃくのお椀部分にも



じゃあ、
そろそろ
たきつけを...

ためっ、
こんなにきれいに
むけたんだもん！



それ
で、
アイヌの...

シラカンバとくらしとのつながり

シラカンバは水分を多く含むため、春先の雪解け前に幹に穴を空けて樹液を集めることができます。この樹液はほんのりと甘く、煮詰めるとシロップになり、キシリトールの原料にもなります。また健康飲料水や化粧品にも活用されています。

樹皮は工芸品

や着火剤として
利用される他、
材は木目が美しく
柔らかいことから、
内装材として活用
されています。



アイヌ民族とシラカンバ

アイヌ民族も春先にシラカンバの樹液を採取し、そのまま飲むほか、お酒造りにも活用していました。